

講義名	消費文化論			授業形態	
担当教員	森脇 丈子	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

資本主義の発展は、私たちに「豊か」で「便利な」生活をもたらしました。ものを所有するだけの「豊かさ」を超えて、働き方や余暇の有意義な使い方、精神的なゆとりを持ち方、さらには、ストレス社会のなかでの消費の仕方や充実感を得る方法などにも関心がもたれています。その一方で、便利なはずの情報が多すぎることによって疲れてしまう人がいたり、生活が便利になりすぎることによって健康を感じる人がいたり、「豊かな」生活が環境破壊を引き起こす原因となっている事例などをよく理解できるようにしました。また、環境保護に関しては、個別的な議論が活発に繰り返されています。この授業では、現代の消費様式や文化がどのように形成されてきたかについて学びます。さらに、私たちの生活のあり方の特徴とその問題点、ならびに、解決すべき課題がどこにあるかを探りながら、持続可能な生活環境のために私たち消費者は何を考え、どう行動するべきであるか、生活の「豊かさ」や「便利さ」とはいったいどういうことであるかについて学び考えていきます。

到達目標

1. 消費社会の基礎である大量生産・大量消費・大量廃棄の仕組みが理解できるようになる。
2. 社会の発展のなかで、消費文化がどのようにみられるかについて理解できるようになる。
3. 「便利な生活」がもたらす正（プラス）と負（マイナス）の側面について考え、理解できるようになる。
4. 「賢い消費者」とは何かについて考え、理解できるようになる。

提出課題

課題はありません。毎回の授業で、復習と予習を出します（提出の必要なし）。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業開始時に、前回授業に関して出された質問や意見についてコメントをします。
授業開始時に、前回の授業の後置問題を提示します。手を挙げて発言し、各人の発言点を積み上げていってください。

評価の基準

1. 「授業中の発言・態度」… 点数 = 30点(1回の授業あたり2点×15回)
 2. 定期試験 … 点数: 70点
- 上記の「1+2」の合計点を、評価をします。
合計60点以上が、合格です。59点以下は、不合格です。

履修にあたっての注意・助言他

- ・新聞・ニュース・雑誌等で社会の出来事や消費者に関連する問題などについて、情報を日々収集しておいてください。
- ・第1回目の授業がイタズラに必ず出席し、授業の進め方、課題の提出方法、評価基準をしっかりと理解したうえで、受講してください。
- ・授業では、かならずメモをとってください(PPT等のスライドによる撮影は禁止します)。
- ・出席者に、プリント、新聞記事を適宜配布します。就職活動等による欠席者は、登壇の授業開始前に前回プリントを受け取ってください。
- ・正当な理由のある欠席については、欠席後10日以内に連絡をしてください。この期間を過ぎた申し出は受け付けません。
- ・授業中の携帯電話の電源をオフにし、教室への出入り、スマホ等電子機器の利用を禁止します。
- ・態度の悪い受講生には、退席してもらいます。

関連科目として、「消費者問題論」、「アミューズメント事業論」、「生活構造論」、「NPO論」、「経済学入門」の受講を勧めます。

教科書

・「使用しない」.				
-----------	--	--	--	--

参考図書

・米国消費文化の変遷.	塚本美穂	ブックウェイ		4865840370
・990円のジーンズがつくられるのはなぜ?.	長田華子	合同出版	1540	4772612688
・大正文化 帝國のユートピア.	竹村民郎	三元社	3080	978488301337

その他

- ・加賀美太郎・佐久間英俊・森脇丈子(2024)『コンビニエンスストアと日本の流通』文理閣。
 - ・山田登世『東京の条件』2005年、岩波新書。
 - ・伏木亨『人間は脳で食べている』、2005年、ちくま新書。
 - ・藤原辰史(2018)『絵巻の歴史』、岩波新書
 - ・石弘之『感染症の世界史』、KADOKAWA
 - ・三浦展(2018)『100万円の家を買ひ、週3日働く』、光文社新書
- その他の参考文献は、授業中に適宜紹介します。

授業計画

1. 授業の内容紹介と授業の進め方について、 経済の発展と「消費社会」の変化について考える
2. 資本主義の発展とその基礎
3. 資本主義の発展と生活の「豊かさ」
4. 小売業の発達と生活様式の変化：19世紀のアメリカ社会を例に
5. 小売業の発達と生活様式の変化：20世紀のアメリカ社会を例に
6. 経済と公共事業
7. 大正時代の「豊かさ」-人々の生活と意識の変化
8. 世界初の百貨店ボン・マルシェの登場(1)：売り方の改革、消費者層の広がり
9. 世界初の百貨店ボン・マルシェの登場(2)：社員教育
10. 日本の百貨店の登場と消費層の広がり
11. 大正時代の経済発展と消費文化(1)-神戸の経済
12. 大正時代の経済発展と消費文化(2)-洋式の生活
13. 日本における戦後の生活の変遷(1)：農村部から都市型社会へ、生活の「豊かさ」、余暇社会
14. 日本における戦後の生活の変遷(2)：消費の多様化
15. 大量廃棄システムと環境問題、定期試験について

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> A: PBL (課題解決型学習)	<input type="checkbox"/> I: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="checkbox"/> W: ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> E: グループワーク
<input type="checkbox"/> O: プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> K: 実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> S: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】授業終了時に、予習について説明します。次回の授業内容に関連する基礎的な語句や情報を調べる等の予習を、授業開始時までに済ませておいてください（作業時間：2時間程度）。

【復習】その日の授業で扱った内容は、次の授業の理解の基礎になります。また、課題で合格点をとるために必要な知識となります。授業で使用したプリントを用いて、基礎的な内容の復習をしてください。配布プリントの最後に、復習問題を提示してあります。また、配布した新聞記事などを利用して、具体的な事例で授業内容をより深く理解できるように努め、ノートに要点をまとめておいてください。（作業時間：2時間程度）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。社会の問題や人びとの考え方を捉えることができ、社会貢献・産学連携、インターンシップなどで現実社会との接点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身に付け、より良い社会を実現するための新しい社会、文化を創造することができる。
人間の精神機能と心理学の研究方法に関する基礎的知識を有し、さまざまな場面に直面する人間の心理と行動を科学的に分析し予測することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

対面の授業中に多くの質問を出します。受講者は、自分の意見を述べてください。

実務経験の有無及び活用

備考

大学の指示にしたがい、感染予防に努めてください。
第1回目の授業に必ず出席し、授業方法、成績評価方法について、しっかりと理解してください。
授業ではメモをとって、理解を深めてください(スマホによるPPT等の撮影は禁止します)。
出席者に、プリント、新聞記事を適宜配布します。就職活動等による欠席者は、登壇の授業開始前に前回プリントを受け取ってください。
正当な理由のある欠席については、欠席後10日以内に連絡をしてください。この期間を過ぎた申し出は受け付けません。
授業中の私語や教室への勝手な出入り、スマホ等電子機器の利用を禁止します。
授業態度の悪い人には、退席を求めることがあります。